

向上心が大学生の投資活動に与える影響

西森楓^a 青井優樹^b 小早川真人^c 笹森慎也^d

要約

本稿では大学生を対象としたアンケート調査を通じて、向上心という観点から、投資活動に与える影響について分析した。高い向上心を持つ大学生ほど投資活動を行うという研究仮説を立て回帰分析を行ったところ、有意性が強い結果が得られ、研究仮説と整合的な結果が得られた。また、社会への貢献心が高いほど投資活動を行う、という研究仮説についても有意性が強い結果が得られたため、「向上心」と「貢献心」が大学生の投資活動への要因であることが示唆された。

JEL 分類番号： Z10

キーワード： 向上心, 貢献心, 投資活動

^a 慶應義塾大学 nishimori-kaede@keio.jp

^b 慶應義塾大学 aoiyuki0510@keio.jp

^c 慶應義塾大学 koma_92@keio.jp

^d 慶應義塾大学 sassa_blowin@keio.jp

1. イントロダクション

1.1. 序文

近年、若者の投資活動への推進が実現しており、2014年1月からNISA（少額投資非課税制度）が始まるなど、以前よりも若者が投資を始めやすくなったことは事実である。これは、投資未経験者層や若年層を証券市場に呼び込み、長期的な資産形成を促し、経済の活性化へ繋げていくことを目的としている（立教大学証券研究学生連盟 2014）。我々は大学生という立場から、自らを若い世代と設定し、大学生の投資活動に影響する世界観を研究することで、投資を活性化させていくという日本社会の目的達成への手助けとなる意義を見出した。また、投資活動を行う理由を調査することで、大学生の投資活動に対する傾向を知るアプローチとして、世界観の研究を行うことは重要だと考えられる。本研究では、お金を稼ぐという目的や将来のための社会勉強という目的のために、すぐれた状態に向かうことを重視する世界観を向上心と考え、高い向上心を持つ大学生ほど投資活動を行う傾向にあるという仮説を立て、検証を行った。

1.2. 先行研究

「若い世代をはじめとする人々が少しでも多く、将来に向けた資産形成に取り組んでもらう」（引用：政府広報オンライン）という期待とともに開始されたNISA（少額投資非課税制度）であったが、金融庁(2015)によると30代までの口座開設比率は10%前半にとどまっている。そこで投資が行われない理由を考察した。宋(2014)は金融に触れる機会が無かったために起こる偏見から生じる投資行動のハードルの高さを投資への関心の低さの原因に挙げた。また野村総合研究所(2015)の調査結果によると、「ギャンブル」「利益が少ない」といった投資へのネガティブなイメージが投資未経験者に多くみられることが分かっている。これらの過去の調査・研究の結果から若年層の多くの人々が投資と距離を置いている理由に金融への知識不足があることが判明した。また未経験者のうち、投資に関心がある層の4割近くが「リスクが高い」と考えており、知識以外の要因により実際の投資行動へ移っていないことが分かる。次に関心を持つ段階から実際の投資行動へ移した人々にはどのような特性があるのかを検討した。スパークス・アセット・マネジメント調べ(2015)において「自分磨きを怠らない“自己投資積極タイプ”」が株式投資に積極的であるという結果が出た。これより、投資行動に影響を及ぼすものに「向上心」に近いものが確かに存在していることが分かった。

2. 研究方法

Google form でアンケートを作成し、LINE 上でアンケートを拡散した。集計期間は 8 月 10 日から 8 月 13 日の 4 日間であり、90 名の有効回答を得た。LINE はインストールされている携帯電話同士で通話やチャットが行えるアプリケーションで、メッセージに反応したかどうか送信人側が把握することができる。アンケートの内容について、“付録”に実際に分析に使ったアンケートを載せているので参照していただきたい。「拝金主義」の度合いを測る質問として質問 10, 「社会への貢献心」の度合いを測るために質問 11, 「向上心」を測る質問として質問 9 と 12 に回答していただいた。向上心の質問を二つに分けて聞いたのは、ある結果を目的とした向上心と、学習の面での向上心では違うものと捉えられるからではないかと考えたためである。また、貢献心に関しての質問を入れたのは、投資活動を何らかの社会貢献として捉えている人がいるのではないかと考えたためである。

3. 回答データ分析

標本数は 90 であり、設問ごとの概要は以下の表 1 の通りである。また、質問 3 の「投資していますか/したことがありますか」に対する他設問とのクロス統計結果は以下の表 2 の通りである。

表 1 設問ごとの概要

	3. 投資経験の有無	9. 学習の喜びの因子	10. お金の重要度	11. 社会貢献への意識	12. 向上心の有無
平均	1.37	2.38	4.38	4.07	4.18
標準偏差	1.05	1.3	0.74	1	0.97
最大値	5	5	5	5	5
最小値	1	1	1	1	1

(各設問の尺度は 1～5 の間で数値化し質問した.)

表 2 クロス統計結果

・問 3—問 9

＼ 問9	1	2	3	4	5	総計
問3	1	2	3	4	5	総計
1	22	28	7	16	6	79
2				1		1
3	2		1			3
4	1			1		2
5	4		1			5
総計	29	28	9	18	6	90

・問 3—問 10

＼ 問10	1	2	3	4	5	総計
問3	1	2	3	4	5	総計
1	1	2	2	38	36	79
2				1		1
3				1	2	3
4				1	1	2
5				1	4	5
総計	1	2	2	42	43	90

・問 3－問 11

＼ 問11						
問3	1	2	3	4	5	総計
1	3	4	8	32	32	79
2				1		1
3			1	1	1	3
4			2			2
5			1	2	2	5
総計	3	4	12	36	35	90

・問 3－問 12

＼ 問12						
問3	1	2	3	4	5	総計
1	2	3	13	28	33	79
2					1	1
3			1		2	3
4					2	2
5				1	4	5
総計	2	3	14	29	42	90

4. 研究結果と考察

回帰分析の結果、向上心が強い人ほど投資活動を行っているという有意な結果が出たので以下の表 3 に示す。

表 3 回帰分析結果

被説明変数	説明変数	係数	P 値
投資していますか/したことがありますか	向上心はありますか	0.193461409	0.045922055**
投資していますか/したことがありますか	学習で得る喜びは「学習行為そのもの」と「学習から得る結果」のどちらに因ると思いますか	-0.217054264	0.097879788*

表 3 より、まず向上心の強さと投資活動の頻度に、正の相関があるという有意な結果が得られた。また投資を行う理由としては主に、お金を稼ぎたいから、親に勧められたから、将来のために社会勉強として始めたから、という回答が得られた。次に、学習で得る喜びは「学習行為そのもの」と「学習から得られる結果」のどちらによるものかという質問で、学習から得られる結果だと思ふ人は 1、学習行為そのものだと思ふ人は 5 で、5 段階の数字で答えてもらった結果、投資活動の頻度と負の相関あるという有意な結果が得られた。すなわちこれは、投資活動を行う人は、投資に関する知識を得るために勉強しているのではなく、投資で利益を得ることを目的としての向上心が高いということが明らかになった。

5. 結論

今回、向上心と大学生の投資活動との間に有意な結果が得られたことにより、大学生が投資活動を行う動機の一部を理解できた。今回の研究を行っていく中で、投資を社会的貢献と捉える考え方や、不労所得に対する罪悪感等も、大学生の投資活動には影響を与えて

いるのではないかと考えた。これらの世界観についても研究することで、大学生が投資活動を起こす背景をより深く知っていけるだろう。

付録 質問票

質問 1：所属大学を教えてください。

質問 2：学部を教えてください。

質問 3：投資していますか/したことがありますか？1 から 5 の数字で教えてください。（数値毎の大体のイメージ...1, 全くしたこと無い 2, 前に 1 回だけやった 3, 数回やったことがある 4, たまにやる 5, それなりの頻度でやっている）

質問 4：投資の経験のある方に質問です。なぜ投資を始めようと思ったのですか。

質問 5：投資の経験のある方に質問です。投資の種類を教えてください。

質問 6：投資の経験のない方に質問です。投資に興味はありますか。

質問 7：投資クラブ/サークルに所属していますか。

質問 8：アルバイトをしている方に質問です。月にどのくらいの時間働いていますか。現在アルバイトをしていない方は「0」とお答えください。

質問 9：学習で得る喜びは「学習行為そのもの」と「学習から得る結果」のどちらに因ると思いますか。1 から 5 の数字で教えてください。（1 が結果、5 が学習行為）

質問 10：あなたの考えるお金の重要度を教えてください。1 から 5 の数字で教えてください。（1 が大事でない、5 が大事）

質問 11：社会貢献をしたいと思いますか。1 から 5 の数字で教えてください。（1 が思わない、5 が思う）

質問 12：向上心はありますか。1 から 5 の数字で教えてください。（1 がない、5 がある）

引用文献

金融庁, 2015. N I S A口座の利用状況に関する調査結果の公表について。

<http://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20160527-1.html>.

スパークス・アセット・マネジメント, 2015. 日本経済と株式投資に関する意識調

<https://www.sparx.co.jp/news/uploads/pdf/PressJ150219.pdf>.

宋 熹允, 2014. 青少年期における金融教育が投資行動に与える影響

野村総合研究所, 2015. 若年層を中心とした個人による投資の現状と NISA の利用促進に

向けた課題に関する調査. https://www.nri.com/jp/news/2015/150212_2.aspx.

立教大学証券研究学生連盟, 2014. 日本の証券市場の活性化について。

山下 裕一郎, 2014. 日本経済成長における株式投資の必要性。